

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標 (KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
1	68	消防団員の環境整備及び広報活動の強化	消防団員の確保を目的としての広報活動について、近年のSNS等を活用した募集等もぜひ検討いただきたい。	消防団員数 広報誌及び募集チラシの配布数	警防課	若い世代の利用者が非常に多いSNS(ツイッター、フェイスブック等)の活用は効果的であることから、広報誌や募集チラシに加え団行きの紹介や募集広報について検討いたします。
2	2	地域活性化の推進 シティプロモーション事業、地域活性化推進チーム事業	シティプロモーションを官民協働で行うというスタンスは大変良いと考える。 例えば、新たな魅力の掘り起こしについては、市民対象に一度情報収集してみてもどうか。これまで行政が把握していなかった魅力や最新の地域情報が得られる可能性がある。 情報発信については、市の施策目的を踏まえ、どういう層に情報を届けたいのか(居住地域や年齢、性別など)によって、その人たちにあった方法(高齢の方であれば市の広報紙への掲載や町内会の回覧、若い人であればYou Tubeへのアップなど)で戦略的に行うことが大切と思う。 また、市内外の人々にも広く情報発信したい場合は、新聞などマスコミが取り上げそうな話題づくりを民間と協働して積極的に行い、そこに記者も巻き込むなどして記事にしてもらえば経費をかけずに効果的な広報を行うことができると考える。	地域活性の情報発信件数	企画政策室	現在、魅力発信アドバイザーを配置し、広報やホームページ等を通じて、アドバイザーの視点から再発見した市の魅力を発信していますが、市民を対象に、市の魅力を募集することは実施したことはありません。そのため、行政の知り得ない魅力が得られる可能性があるため、検討してまいります。 また、ターゲットを絞ることや発信方法など、戦略的な情報発信を検証するとともに、プレスリリースの積極的な活用も、引き続き実施してまいります。
3	20	結婚や子育てを応援する街のPR 団体等の婚活イベント支援事業	婚活イベントを実施しても成婚にいたった例がないため、事業継続について再検討するというところがあるが、仮に、本事業に参加して結婚したカップルが多数生まれていたとしても、市内に住むことを要請できる訳ではないし、「結婚はあえてしない」という人生観を持つ人も多数いる今日の社会において、行政が公費を投入して結婚を促進すべきものかどうかについて、改めて検討が必要ではないか。 もっとも、結婚相手がなかなか見つからず後継者不足に悩む農業者の場合などは、産業育成という観点から行政が婚活事業に関与する名目も立つかもしれない。しかし、単なる一般的な婚活イベントに公費を投入することについては異論もあると思う。	記念証の交付数	企画政策室	婚活イベントは、男女の出会いと結婚の機会を与える目的のほか、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムを活用し、市の魅力を発信することにあります。しかしながら、ご指摘のとおり、婚活イベントを直接市が継続することを含めて、来年度予算編成の中で検討してまいります。
4	32	児童生徒における読書の推進 小学生図書カード配布事業	毎年、市内全校の小学1年生に案内を配布しているのであれば、今後は、児童1人に貸出した本の数をKPIに設定するとより良いのではないかと。	図書カードを配布する小学校の数	生涯学習推進課	図書館では、図書館利用促進を目的として様々な事業を行っています。特に児童向けの事業が多い中で、児童への本の貸出数を数値目標とした場合、その成果はこれら事業全体の効果として表されるものであり、当該事業のみで判断することは困難と考えられます。したがって、児童への本の貸出数をKPIに設定することは、難しいものと思料します。
5	33	安全安心な学校給食の提供と食育の充実 給食センター見学会及び食育事業	残食の少ないクラスへのお礼の手紙ではなく、表彰にしてみてもどうか。	アレルギー対応品目数	給食管理室	残食が少ないクラスへお礼の手紙を渡す取り組みについては、平成27年度から継続的に実施しています。お礼の手紙を表彰の形にするについては、以前に学校からもご要望をいただき検討しましたが、残食量をクラスごとで競うことや、クラス内で無理に給食を食べるよう強要することに繋がると考え現在の形となっています。 今後も、残食量の減少に向けて継続的に取り組んでいきます。
6	39	地域産業の競争力強化 認定農業者促進事業	認定農業者数がなかなか増えないのは、市特有の理由等があるのか。	認定農業者数	農業振興課	認定農業者数が増えづらい要因としては、メリットを感じている農業者が少ないことがあります。そのため、認定農業者になることで受けられる補助や制度についてより周知することが必要になると考えております。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標 (KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
7	47	生きがいつくりの推進 社会福祉センターの活用推進事業、 老人クラブ支援事業	新型コロナウイルスの蔓延に配慮しつつ事業を継続することは困難が多いものと思われるが、具体的な対応等を取られていけば、教示いただきたい。	趣味や習い事など をしている高齢者の割合	高齢者支援課	新型コロナウイルスの感染リスクが高い高齢者については、感染予防に充分配慮しながらの活動が必要であると考えております。9月現在、感染状況を勘案して、飛沫感染の多い「カラオケ」や「合唱」、「会食を伴う活動」とソーシャルディスタンスが保てない身体を密着させたダンス等については、各団体等や社会福祉センターでの活動に対し自粛を要請を継続しています。しかしながら、それ以外の活動に関しては、高齢者の方々の健康維持のために重要であることから、3密の防止、マスクの着用、消毒等や感染防止対策に配慮しながら活動を継続していただくことようお願いしております。
8	33	安全安心な学校給食の提供と食育の充実	学校給食をコロナの中、従来の夏休み期間でも提供いただき助かった。味も年々向上していると感じるので、今後も安全で美味しい給食の提供をお願いしたい。	アレルギー対応品 目数	給食管理室	令和元年度の学校給食に関するアンケート結果において、学校給食を「好き」「少し好き」であるという回答は、小学校全体で88%、中学校全体で79%となっています。学校給食では、食育の一環でイベント献立や市内産食材を使用した献立など、子どもたちが食事に興味を持てるような献立を提供しています。 今後も安心・安全で美味しい給食の提供を行っていきます。
9	—	全般的	育児・保育・障害者、高齢者等に関わるが多く、また、コミュニケーションイベントを目的とした目標が多い。 新型コロナウイルス感染症の影響で、達成が困難な目標も多いと思うが、今は、感染を抑え込むことが大事と考える。 若い方は、大丈夫と言う風潮もあるが、肺・血管への後遺症を考えると、若い人も絶対にかからないという意志を持つことが先決。 市をあげて、感染抑制に取り組まれない。	—	健康増進課	新型コロナウイルス感染症に対し、市民の皆様の不安を軽減し、混乱を最小限に留められるよう情報提供及び相談体制の強化を図るほか、感染の拡大を防止するため、感染が疑われる方等が適切な診察や医療を受けることができるよう県や習志野健康福祉センターと連携、協力し対応していきます。また、HPや広報を通じて、正しい情報の提供や感染を予防するための健康づくり継続的に取り組めるよう周知するとともに、職員ひとり一人が市民の方からの相談等に対応できるよう、市職員向けの新型コロナウイルス感染症窓口対応マニュアルも作成しており、今後も市民の方が安心して生活できるよう随時対応をしていきます。さらに、令和2年5月25日の新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の解除に伴い、「イベント・会議開催の基本方針」及び「イベント等の開催基準」を策定し、それに基づき、感染防止対策を徹底しながらイベントや事業等を行っております。
10	30	全小中学校のコンピュータ整備リニューアル事業	今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校休校が生じた。 未だに終息の見通しが立たず、今後も未知の感染症の発生なども想定される中、コンピュータを活用した在宅での教育も見据え、児童1人1台をできるだけ早期に実現していただきたい。 学校内の活用ではなく、在宅での活用となると、生徒の家庭ごとのネットワーク環境導入の問題も生じるため、併せて検討をお願いしたい。	全小中学校のパソ コンリニューアル数	学校教育課	一人一台端末整備については7月に入札が終わり、12月からのリース開始に向けて手続きを進めております。ネットワーク整備につきましては、8月までの設計委託を受け、LAN整備委託と電源工事に分けて11月から整備を行う予定です。また、学習の中で最大限活用するために、学習を行う教室には大型提示装置を整備いたします。 一斉休校などの緊急時においては、遠隔学習が行えるよう、webカメラやマイクを配備し、インターネット環境が整っていない家庭に対してはモバイルルーターを貸与できるよう準備を進めております。
11	3	広域交流拠点整備事業 (新鎌ヶ谷駅周辺整備事業)	南北自由通路整備のスケジュール化 駅南側東京10号線跡地利活用の具体化に向けた県企業局との協議内容の開示 ※新鎌ヶ谷駅は、乗降客10万人超ながら、まちの雰囲気は停滞化している。その要因として未開発地がそのまま残っており、且つ開発の匂いも感じられない。乗降客を回遊させる工夫が必要で、その気運を行政として示すべきと考える。	新鎌ヶ谷駅乗降客 数(1日あたり)	まちづくり室	南北自由通路の整備については、当該通路に必要な用地を新京成線連続立体交差事業で使用していることから、具体的なスケジュールは決まっておりませんが、整備に向け関係機関と調整を図っているところです。 また、東京10号線跡地については、千葉県企業局の所有地でございますが、新鎌ヶ谷駅周辺の回遊性の確保ならびに賑わいの創出を図り、本市の顔となる新鎌ヶ谷駅前に適した土地利用となるよう、引き続き協議し、節目節目の重要な時点を捉えて、周知してまいりたいと考えております。
12	—	子育て事業について	現代社会において、「不妊」に悩む夫婦が増えている。「不妊治療」を目的としたクリニック建設への助成及び「不妊治療」対象者への補助を検討し、「出産→子育て」の支援を試みると良いと考える。	合計特殊出生率	健康増進課	不妊治療に関する助成については、県が千葉県特定不妊治療費助成事業により、特定不妊治療(体外受精、顕微受精)を行う方を対象とした治療費の一部助成を実施しております。市といたしましては、県の助成事業を周知、活用しながら対応してまいりたいと思います。また、不妊症・不育症についての情報提供及び相談を受けながら、必要な機関につなげております。なお、不妊治療に特化したものではありませんが、鎌ヶ谷市企業誘致促進条例の指定企業として産科医療機関を対象としております。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
13	—	その他	コロナ渦における市内飲食店経営者への支援を強く希望する。 市内には、地元初の飲食店が他市町村に比べ少ないと感じる。 加えて、この状況下でさらに厳しい経営を強いられており、早急な助成が必要と考える。	—	商工振興課	厳しい経営を強いられている飲食店に対しては、経営支援給付金や千葉県よろず支援拠点の無料相談会を活用していただき、事業を継続できるよう支援しております。 また、飲食店をはじめ店舗を増やす取り組みとして、空き店舗活用補助金やコミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業補助金、市制度融資(創業支援資金)など、の制度を活用していただくことで、市内に出店しやすくなるような環境整備に努めております。
14	—	その他	広報かまがやに掲載されている住民基本台帳人口は、前月比がマイナス、世帯数は前月比がプラスという場合が見られるが、人口が減りながらも世帯数が増えているのは、どういう意味か。	—	企画政策室	人口と世帯数の関係は、令和元年度人口110,038人、世帯数50,091世帯となっていますが、5年前と比べると、平成26年度は人口10万9,601人で世帯数が4万6,950世帯、世帯数で3,141世帯、人口で437人増加している状況にあります。 世帯数は、国勢調査によると、単身高齢者の世帯増が、人口増を上回っていることが要因となります。
15	5	基本目標1 No.5 快適な公園・緑地環境の整備	平成28年度に(仮称)総合運動公園内の緑道が完成し、その後事業は実施していないとあるが、実施していない事業について、説明願いたい。	市民一人当たりの公園面積	公園緑地課	(仮称)総合運動公園整備事業については、全体の事業計画を策定していないため、総合運動公園内の箇所ごとに事業を実施する段階で実施計画に位置付けたくえで実施しております。 現在、本市の公園整備事業は鎌ヶ谷一丁目及び丸山三丁目ふれあいの森の用地取得を含めた公園整備に鋭意取り組んでいるところでございます。 今後の総合運動公園の整備につきましては、現在着手している他の事業の進捗を見計らい検討してまいります。
16	11	基本目標1 No.11 他自治体との資源共有化と連携強化	ふるさと産品の商品は、梨、ワインなどの他、どのようなものがあるのか。	イベント開催数	商工振興課	梨サイダーをはじめ手折りめん、肉まん・あんまん、酢、珈琲、ケチャップ・ソースなどの製造・加工品や、煎餅やかきんとうなどの和菓子、ケーキやパイなどの洋菓子に加え、工芸品である五月人形等がございます。
17	—	基本目標2	出生率向上のため、支援策の充実を図るとあるが、具体的な支援策の充実とはどのようなことか。	合計特殊出生率	健康増進課 こども支援課	鎌ヶ谷市では、妊娠期から子育て期までの家庭に対して、切れ目のない支援を行うため、「鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、さまざまな子育て支援事業を実施しております。 具体的には、民間保育所の整備、子育て支援事業を円滑に利用することができるように子育て支援コーディネーターを配置、子育て世代が気軽に相談、情報交換を図れるつどいの広場を全児童センターで実施するとともに、乳児家庭全戸訪問事業、療育支援訪問事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業などで、今後も、本計画に基づき、子育て支援事業の充実に向けた取り組み、子育て世代にやさしいまちづくりを目指し、出生率の向上を図ってまいります。
18	13	基本目標2 No.13 児童センター等の子育て環境の整備	リニューアル事業未実施の児童センターはどこか。	児童センター等総利用人数	こども支援課	市内5カ所ある児童センターのうち、平成27年度に南児童センター、平成29年度に中央児童センターの改修工事を実施しました。また、栗野児童センターについては、平成14年度に設置し、比較的に新しい児童センターとなります。 このことから、リニューアルの対象は、くぬぎ山児童センター、北中沢児童センターとなりますが、引き続き、施設の状態などを踏まえ、改修時期を検討するとともに、子ども達にとって快適な居場所となるように、備品の更新や部分的な改修を行うなど環境改善などを実施してまいります。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
19	53	基本目標4 No.53 自治会加入促進対策の推進	自治会加入率は引き続き低下傾向にあります。今後も広報かまがやへ自治会・町会の加入促進を掲載していただきたい。	パンフレット等配布件数	市民活動推進課	自治会・町会の加入促進を広報に掲載することにつきましては、継続して行ってまいります。今年度はコロナウイルス感染症の拡大の中、自治会活動がいわゆる「三密」になりやすいため、自治会・町会においても活動の自粛や見直しを行っていました。今後も感染症に係る状況の推移を考慮し、加入促進活動においては感染対策を徹底する、接触を避ける方法で行うなど、新しい生活様式に沿った自治会活動について、鎌ヶ谷市自治会連合協議会をはじめ関係者の皆様と協議を進めてまいりたいと考えています。
20	—	その他	学校等を主体に避難所運営委員会が設置されているが、進捗状況をご教示いただきたい。また、最終的に、どのような避難所運営を目指しているか、完了時期はいつ頃を見込んでいるか。	—	教育総務課	令和2年度8月末現在、指定避難所21箇所のうち、12箇所で避難所運営委員会が設置されています。避難所運営委員会は、自治会、施設管理者、市の避難所班などで構成しており、避難所の開設、運営、閉鎖ができる組織を目指しています。すべての避難所運営委員会の設置完了は、令和5年度頃を見込んでいます。
21	13	基本目標2 No.13 児童センター等の子育て環境の整備	コロナにより人数は減少となっているが、休館中に行っていた利用者へのフォローや支援、アンケートなどが素晴らしいと感じた。市民に寄り添う現場の支援は、数字見えない部分であるが、今後も継続をお願いしたい。	児童センター等総利用人数	こども支援課	新型コロナウイルス感染症の予防対策として、利用者の安全を第一に考え、児童センターを令和2年3月2日から5月末まで、臨時に休館としておりました。休館中においては、子育て世帯の孤立化の防止を図るため、電話による子育て相談や、きめ細やかな支援が必要なご家庭に対しては、状況確認などの対応をしております。6月1日からは開館時間の短縮や利用制限を設けるなど感染症対策に取り組みながら運営しており、引き続き、子育て親子が集える場所を確保するとともに、交流の場を進め、寄り添った相談を行うなど、孤立化の防止や子どもの健やかな育成を促進してまいります。
22	16	基本目標2 No.16 保育園等の子育て支援の推進	待機児童が6年連続でゼロを達成しているが、なぜ新しい保育園を開所するのか。幼稚園に定員割れがある現状をみると、今ある施設をより良くしていくことに目を向けても良いと考える。また、今後子どもの人数が減っていく中で、閉園する施設が出てきた場合、どうするべきなのか。急に保育園や幼稚園が無くならないよう対応をお願いしたい。	保育園利用定員数	幼児保育課	保育所の開所については、年度途中から年度末にかけての待機児童の増加を踏まえ整備を行うもので、一方既存施設の活用という点では、幼稚園での預かり保育の利用促進による待機児童対策を進めるため、預かり保育運営費補助金、私立幼稚園振興費補助金などにより支援をしています。今後も教育・保育ニーズを的確に把握し、保護者が望まれる施設運営をしていただくべく、幼稚園・保育園事業者への支援を継続していきます。
23	30	基本目標2 No.30 情報教育の充実	新学習指導要領になり、思考力を身に付けるために、学校だけでなく、家庭や地域との連携をすることが大切であると考え。保護者の家庭での接し方や、地域で活動する人団体との協力など、教育のため、子供たちのために目を向けて検討をお願いしたい。	全小中学校のパソコンリニューアル数	学校教育課	学校から、新学習指導要領の目指す方向を、学校便りや各校のHPにて家庭や地域に発信してまいります。また、情報教育をとおして、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせていくと共に情報モラル教育については、保護者にも啓発してまいります。
24	31	基本目標2 No.31 放課後における学習支援の充実及び放課後子ども教室の推進	「コミュニティスクールの導入を視野に」あるが、ぜひ導入していただき、こどもたちに色々な方とのふれ合いや経験をさせてあげられるよう検討をお願いしたい。	学習支援を行う地域学校協働本部数	学校教育課	今後は、コミュニティスクールについての方向性を決定した上で、導入する学校を選定し、検証してまいります。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標 (KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
25	—	総合戦略(改訂版) 2 鎌ヶ谷市の現状と課題	鎌ヶ谷市は、昔と比べて交通の便が良くなったが、今後より発展する街になるには、人が集まるような施設が必要となる。大手会社の支社・学校の分校などがあれば、就職先にもなり、遠くまで通勤しなくても良くなるのではないか。 地域資源がありながら人口の増加や出生数の向上を目指すのであれば、日ハム球場なども含め、人を集客できるような場所がもっと必要ではないか。	—	企画政策室	人口増及び出生率の向上を目指すには、ハード面、ソフト面の両面から様々な施策を展開する必要があります。 企業誘致に関しては、企業誘致奨励金などを創設し、積極的な誘致に取り組んでいますが、用地確保に課題があり、誘致に至っていないところがあります。 今後は、新京成線の高架下の活用、新鎌ヶ谷駅北側の東京10号線延伸新線跡地の活用など、県や事業所と協議しながら、検討してまいります。
26	3 57 59	都市軸及び近隣商業拠点の整備促進	連続立体交差事業における ①各路線網(関連側道・区画道路・都市計画道路等)及び駅前広場整備の計画及び供用形態、供用時期また、それに関連したライフライン整備の推進 ②市街化調整区域の見直し等につきまして、今後の市の新たな計画等を策定する中で、具体的に明記いただくようお願いしたい。	新鎌ヶ谷駅乗降客数(1日あたり)	①道路河川整備課 ②都市政策室	①連続立体交差事業における区画道路・関連側道等の整備は、連続立体交差事業の事業認可期間である令和6年度末までを目途に順次供用開始できるよう、事業主体である千葉県と連携を図りながら取り組みます。ライフラインにつきましては各担当会社、部局が設置を行う事になりますが、引き続き調整してまいります。 ②市街化調整区域は、都市計画法に基づき市街化を抑制する区域であり、都市の均衡ある発展のため、農地や森林などの現状を保全する区域です。市街化調整区域の市街化区域への編入につきましては、都市計画マスタープランなどへの位置付けを検討するとともに、地区計画などのまちづくりの手法を検討していくものでございます。なお、北千葉道路の事業化が具体化する中で、沿道などの土地利用の在り方については検討してまいりたいと考えております。
27	3 57 59	都市軸及び近隣商業拠点の整備促進 道路網の整備及び安全で快適な道づくり 公共交通網の充実	【連立事業全体】 ①計画の早期具体化 関連側道・区画道路・緑道・駅前広場整備・都計道等、まちづくりの前提条件となります道路等の整備供用計画の早期具体化及び事業に付帯する緑道・駅前広場整備計画について、事業との連携をお願いいたします。 ②各路線へのライフライン整備 当社及び市の高架下利用、沿道住戸等、都市機能の根幹となる、ライフラインは予め整備(汚水・雨水・上水道・ガス・電気・電話)が必須であると思われま。	新京成線連続立体交差事業進捗率	道路河川整備課	①連続立体交差事業の事業主体である千葉県、及び事業に付帯する緑道・駅前広場の担当課と協議しながら事業について連携し進めてまいります。 ②各路線のライフラインにつきましては各担当会社、部局が設置を行う事になりますが、引き続き調整してまいります。
28	3 57 59	都市軸及び近隣商業拠点の整備促進 道路網の整備及び安全で快適な道づくり 公共交通網の充実	【初富地区について】 都計道3・4・8号線、3・4・6号線、3・3・16号線は、供用の見通しが立っておらず、鉄道用地を挟む東西の交通アクセスの分断化が解消されず、依然として狭隘な学童の通学路である市道2334号線に車が密集しております。 また、初富駅前広場も暫定計画状態であり、関連側道7・7・2号線も車両通行の見通しが立っておりません。下記の一体検討により、駅を単に高架化するだけでなく、駅周辺の街づくり及び交通機能の強化をお願いしたい。 ① 772号線の車道供用 関連側道7・7・2号線は車道供用で認可されておりますが、都計道3・4・6号線未開通により、暫定歩行者系となっております。駅舎や高架下信号施設等の運転保安並びに維持管理上、車両通行は必須となります。 また、高架下利用も車両通行を前提とした計画としており、初富駅付近における、高架下駐輪場整備に際して、自転車やバイクの通行できる形態が必要となります(自転車やバイクを押して歩く運用は、モラルを守らない利用者もおお困り)。 ② 交差道路の新設(初富保守用施設付近) 市道2334号線と都計道3・3・16号線間に新たに東西に横断できる道路の新設。 市道2334号線は狭隘な状態であり、通学路かつ県道57号線の抜け道となっており、交通の見直しが必要だと思います。対策として、初富保守区付近に交差の新設を当社としても提案いたします。 ③ 都計道3・3・16号線の延伸 連立事業区域までは完成しておりますが、近々の課題として東側区画整理地内に車道接続が検討できていないため、将来的にはバイパスまでの早期延伸をお願いいたします。 ④ 上記3点を総括的に含めた交通計画 県道57号線から関連側道と区画道路を経由し、国道464号線へ車両が接続する接合ポイントを考慮した交通の検討により、初富駅付近の地区計画における快適かつ安全に生活するために検討実現していくべきものと考えます。	都市計画道路整備延長	道路河川整備課	①7・7・2号線の整備後の当面の供用形態につきましては、引き続き関係機関と協議してまいります。 ②ご提案については人や車の動向や将来予測や費用対効果も含め検討していく必要があります。道路新設につきましては関連側道を含めた整備後の道路状況を勘案し検討してまいります。 ③整備の必要性は十分認識しておりますが、整備済みの都計道3・3・16号新鎌ヶ谷南線から都計道3・4・5号船橋我孫子バイパス線をまでを結ぶ約470mの区間につきましては、鎌ヶ谷市道路整備プログラムにおいて、長期整備区間となっております。東西方向の広域幹線である、北千葉道路の進捗の中で検討してまいります。 ④県道57号線に接続する道路は歩行者専用道路として計画されております。

鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会の意見及び今後の取組みの考え方一覧表  
(令和2年度)

No	事業番号	施策名	委員からの意見	影響する重要業績評価指標(KPI)	担当課	今後の取組みの考え方
29	3 57 59	都市軸及び近隣商業拠点の整備促進 道路網の整備及び安全で快適な道づくり 公共交通網の充実	【新鎌ヶ谷地区】 ① 都計道3・4・10の早期開通及び都市計画の見直し 優先整備路線にも該当し、②緑道と併せて早期整備をお願いいたします。 また、前回も申し上げましたが、市街化調整区域の見直しもお願いいたします。 ② 緑道 具体的計画の推進をお願いいたします。	都市計画道路整備延長	①道路河川整備課 ②公園緑地課	①事業中の都計道3・4・10号(一部区間)は、国の交付金を活用し早期供用を目指して用地買収を進めております。 ②北初富駅から新鎌ヶ谷駅までの東京10号線延伸新線跡地については、今後整備方針を決定し、令和3年度から始まる次期実施計画に位置付けて進めていく予定です。
30	3 57 59	都市軸及び近隣商業拠点の整備促進 道路網の整備及び安全で快適な道づくり 公共交通網の充実	【北初富地区】 ① 駅前広場整備 自動車が乗り入れできる、駅前広場整備をお願いいたします。 ② 北初富駅交差点の復旧 事業による市道4号線の復旧に際して、北初富交差点改良(右折レーン新設や歩道整備等)の検討による交通安全の推進をお願いいたします。	新鎌ヶ谷駅乗降客数(1日あたり)	①まちづくり室 ②道路河川整備課	①北初富駅前広場の整備に向け、その形状等も含めて関係機関と調整を図ってまいります。 ②連立事業による北初富交差点の復旧につきましては、事業主体である千葉県が、現在使用できる用地を活用し復旧形状を検討しております。また、千葉県に対して北初富交差点の改良について引き続き要望してまいります。